

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	簡易点検
事務事業名	身体障害者緊急通報システム	シート番号	A 一般事務事業 11-151
担当部署名	健康福祉 局 障害福祉 部 障害者支援 課	評価責任者(課長名)	増田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け	
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無	
	2	事業開始年度	平成 16 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	堺市身体障害者緊急通報システム事業実施要綱				
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画				
5	事業実施の経緯	在宅におけるひとり暮らしの重度身体障害者の緊急時の連絡手段の確保が課題であったため、既存の高齢者緊急通報のシステムを利用し、平成16年度から事業を開始した。					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	本市の区域内に住所を有するひとり暮らしの重度身体障害者			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	ひとり暮らしの重度身体障害者の命を守り、不安感を解消し、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、自宅内での安全を確保すること。			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	ひとり暮らしの重度障害者宅に緊急通報装置を設置する。 緊急ボタンを押すと消防局に通報され急病等に対応し、相談ボタンを押すと委託業者に通報され健康面の相談等ができる。			
	10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 契約民間事業者			

Ⅲ. 投入量

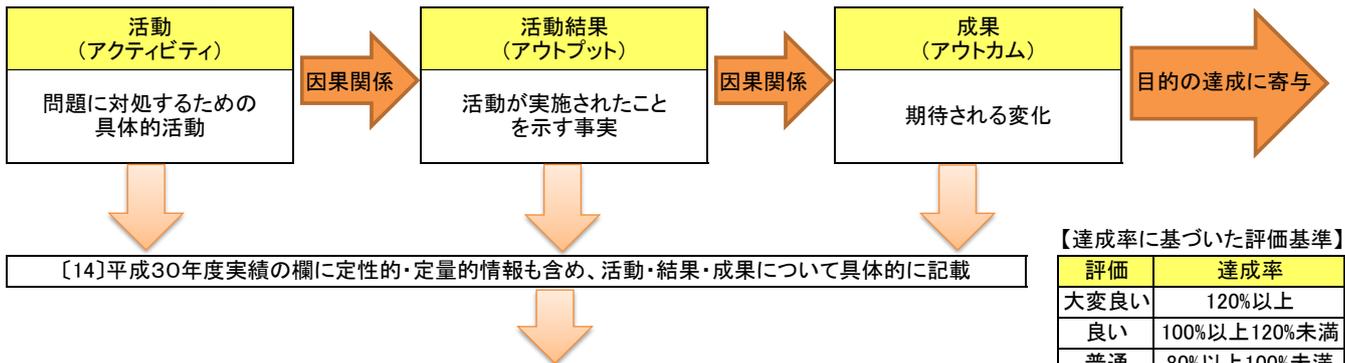
	項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	642	604	577	734	
	主な事業費内訳	緊急通報システム委託料	千円	642	604	577	734
		備品購入費	千円	0	0	0	0
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
		一般財源	千円	642	604	577	734
	12	人件費 (b)	千円	820	820	820	810
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	1,462	1,424	1,397	1,544	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	身体障害者緊急通報システム	シート番号	11-151
--------------	---------------	--------------	--------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	平成30年度については緊急通報装置を64台設置し、装置を通じた相談通報件数は66件に上り、ひとり暮らしの重度身体障害者の自宅内での安全確保に寄与した。						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		緊急通報システム設置台数	台	目標値	-	-	-	-
				実績値	79	73	64	
				達成率	-	-	-	
				評価	-	-	-	
	算出方法・設定根拠など		緊急通報システムを設置した台数(当該システムの必要度は各家庭の個別状況等に影響される要素が大きく目標の数値化に馴染まない。)					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		相談通報件数	件	目標値	-	-	-	-
				実績値	69	47	66	
達成率				-	-	-		
評価				-	-	-		
算出方法・設定根拠など		委託業者への相談通報件数(相談通報件数は各自の状況に依るもので、目標の数値化に馴染まないため、目標値設定しない。)						

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	社会資源整備が進み、介護保険施設等への入所者が増えている等の理由から、利用中止となる人も多く、設置台数が逡減傾向にある。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。